

長く愛されるものづくり

八幡化成株式会社

代表取締役 高垣克朗



事務所がある社屋

清流が巡る歴史ある城下町や、鍾乳洞や滝のある森林など雄大な自然に囲まれた郡上八幡に八幡化成(株)がある。社屋横の清流は、梅雨の時期は虫が大乱舞するという。八幡化成は半世紀にわたり、プラスチックの加工業として主に家庭用品や鉢の成型に携わる。1998年以前から原料に間伐材を使用するなど環境に対する意識は高い。自社企画による独自のデザイン性と機能性にこだわり、丈夫で長く使える製品は数々の賞を受賞。他にはない製品を開発する八幡化成の高垣克朗代表取締役に自社製品の思いを伺った。



グッドデザイン賞、ロングライフデザイン賞受賞「ガーデントールバケツ」

フタ付きバケツの受賞が転機に

1965年のいざなぎ景気の中、八幡化成工業所としてプラスチック雑貨製品加工業を祖父の高垣新二が創業し、家庭用品や電機メーカー関連の商品の成型がはじまりました。高度成長とともに、ダストボックスや収納用品など家庭用品の自社製品の開発を始め、少しずつ販路を開拓。高垣美代子現会長が代表を務めていた1990年頃から、オリジナルの自社製品が主力になり、「新しいプラスチックの有り方、心が豊かに満たされる魅力

あるモノ作り」をコンセプトにした今の商品の基礎ができあがりました。1994年にはフタ付きバケツ「ウエイビー102 801」(オムニウツテイ)がグッドデザイン賞と中小企業庁長官賞をダブル受賞。これを機に全国的に認知されるようになり、量販店も右肩上がりで出店ラッシュだった時代が追い風になり、売り上げも好調。2016年に私が代表を引き継ぎ、現在は、バケツやゴミ箱などの収納用品を主力に、園芸雑貨の売り上げも伸ばしています。スタッフは約30人。デザインや商品開発から製造、出荷まですべての業務を敷地内で行い、臨機応変に、迅速に対応できることが弊社の強みです。

商品開発のこだわり

現会長が掲げた「新しいプラスチックの有り方」をバックグラウンドにこだわった商品開発は、園芸商品にも受け継がれることが弊社の強みです。

環境に配慮した自社製品

最近SDGsやサステナビリティと言われ、環境問題が注目されていますが、弊社は23年前から環境に配慮した製品を作り続けて、お客さまから「八幡化成さんの商品は当初からエコだね」と言われることがあります。

例えば、植木鉢「アール」は、間伐材を融合した素材で作られ、森林を守るためにまびきをした木材の再利用は、環境保全に役立っています。また、異素材を混ぜて作ることで、プラスチック樹脂の使用を減らせる点で環境に配慮しているのです。「Hachimangardens」エコシリーズは、厚みがあり丈夫で、長期に渡り使用でき、愛着も湧き、経年変化も楽しんでいただける商品です。

弊社は、日頃から大自然に囲まれた環境にあり、自然の素晴らしさや大切さを肌で感じていきます。今後も創業者、先代が培ってきた歴史を重んじ、自分たちの襟を正して、業者さんからエンドユーザーさんまで関わりのある人たちに「八幡化成さんの商品はやっぱりいいね」と言ってもらえるようこれからも努力します。

世界進出も視野に

最近インスタグラムをメインに情報発信し、国内外を含め、気軽にメッセー

ジをいただきお客さまとの距離が近くなりました。質の良い物や気に入った物を買う傾向が見られる中で、オリジナル鉢がよくなるように、弊社のこだわりが受け入れられているようです。

ガーデニングブームと言われた時期以外園芸人口は、人口減少と同時に右肩下がりはあっても急激に下がることはなく、趣味の世界では安定。弊社も長年、形状や色を変えていない鉢が売れ続けています。ヨーロッパのアンティークではありませんが長く使ったとき、愛されるようなものを目指したいですね。園芸の文化は世界共通なので、今後は世界中の人たちにも私たちの製品を見ていただけるよう、取り組んで参ります。

(西山)

最近のメッセーを組み合わせることも、さりげないレリーフのワンポイントもこだわります。お客さまは、植物を決めてから鉢を決められる方が多いので「この鉢に植えるとお洒落に見えるね」と言って選んでいただけると嬉しいですし、その逆に、この鉢を使いたいと先に選んでいただけたら作り手冥利に尽きますね。

鉢は号数が決まっているので、差別化した商品を考えるのは本当に難しいです。しかし、今売れているカテゴリーだから作るうという考えではなく、時代が求めている物は何か、ストリーパーあるコンセプトは何かを考え、思いを込めて作るからこそ、苦労して生み出した自社製品にはとても愛着があります。こだわりの詰まった製品が弊社らしさです。



木粉を融合した原料を使用した「アール」。雑貨テイストのグレイやネイビーも人気

豊かな自然に囲まれた環境でのモノづくり



紙の端材を有効利用した「パビエ」。独特な風合いは植物との相性が良い



新商品 エコプランターオーバル。丸みのあるフォルムは寄せ植えや家庭菜園に使いやすい

八幡化成株式会社

本社：岐阜県郡上市八幡町旭182
 TEL：0575-67-1175
 FAX：0575-65-5150
 E-mail: info@hachimankasei.co.jp
 創業：1965年
 設立：1970年
 資本金：1,200万円
 業務内容：プラスチック雑貨製品、製造および販売
 主要販売先：インテリアショップ、コンセプトショップ、家具店、ネット販売、百貨店、量販店、専門店、ホームセンターなど